

社長時代の回顧録 「ロシアトヨタ戦記」を執筆

にしたに
西谷 ともあき
公明さん(68)



旧日本長期信用銀行系の研究所から在ウクライナ日本大使館への出向を経て、二〇〇四〜〇九年にトヨタ自動車のロシア現地法人社長を務めた異色の経歴。社長時代の五年三カ月の回顧録「ロシアトヨタ戦記」（中央公論新社）を執筆した。「ロシアの一時代におけるトヨタの挑戦をありのまま書き記すことで、前を向いて進む大切さを伝えたかった」と話す。

自動車産業にとって未開拓の市

この人

場で販売基盤を整え、〇七年の現地生産開始に道筋を付けた。「単なる苦勞談にしたくなかった」と語る通り、厳しくも詩情に満ちた風土や現地スタッフらとの人間くさい交流にも紙幅を多く割いた。

〇八年秋のリーマン・ショックを受け、大量の在庫を抱える苦しい失敗で物語は終幕する。資源価格の乱高下や政情不安で常に揺れ動く同国を「予期せぬことが何でもないように起きる」と表現。だが、たくましく働き、暮らす人々への温かい視線を忘れない。

キエフにもモスクワにも古い友人は多い。ウクライナ問題の平和的解決を願いつつ、エコノミストとして冷静に情勢を分析し、発信することを使命と自認する。愛知県豊橋市出身。

(安藤孝憲)